

No	欠陥番号	指摘事項（要修正）	指摘事由〔適用検定基準〕	現行教科書（修正後合格）	市販本・不合格教科書	自由社反論	調査官による反論認否
26	265・311	「ヒトラー（1889～1945）」中、「 <u>ミュンヘンに出てナチス党を創設した。</u> 」〔前回指箇〕 「② ヒトラー（1889～1945）」中、「 <u>「ミュンヘンに出てナチスを創設しました。」</u> 」〔今回指箇〕	生徒が誤解するおそれのある表現である。（ヒトラーとナチス党の関係）〔3・(3)〕	ヒトラー（1889～1945） オーストリア生まれの貧しい画学生だったが、ドイツの民族主義に目覚め、巧みな演説で国民を熱狂させ、ナチス党を大きくした。（226 頁上部写真キャプション） 〔指箇箇所を削除〕	ヒトラー（1889～1945） オーストリア生まれの貧しい画学生だったが、ドイツの民族主義に目覚め、ミュンヘンに出てナチスを創設しました。演説のうまさか国民を熱狂させました。（226 頁上部写真キャプション）	ヒトラーはナチス7人目の党員であり、創設期のメンバーである。従ってナチスの創設者のひとりであり、「ナチスを創設しました」の表現に間違いはない。生徒が誤解する恐れはない。	「ヒトラーはナチス7人目の党員」ではない。 ヒトラーとナチス党との関係について誤解する恐れがある。反論は認められない。
27	266・310	側注1 全体	生徒が誤解するおそれのある表現がある。 （コミンテルンの性格）〔3・(3)、前回指箇〕 （コミンテルンの性質）〔3・(3)、今回指箇〕	共産主義インターナショナル（国際共産党）の英語の略称。第二次世界大戦中の1943 年、ソ連が英米などと戦争で協力するために解散した。 （226 頁脚注） 〔指箇箇所を削除〕	コミンテルン（Comintern）共産主義インターナショナル Communist International の略称で共産主義者の国際組織。レーニンは1919 年3 月、30 カ国の代表をモスクワに集めて第1 回大会を開きました。モスクワの中央の指令には絶対的に従う軍隊組織と同じ原則で運営され、世界中の共産化を目指して破壊活動を行いました。43 年5 月、ソ連が戦争で英米などと協力する手前、名目的に解散しました。（226 頁注）	提出された資料は、一年足らずのうちに効力を失ったものであり、コミンテルンの一般的性質を示す資料とは言えない。反論は認められない。	
28	267・312	各国の共産党は、コミンテルンの支部と位置づけられ、モスクワの本部の指令に絶対的に服従し、自国の政府に対する破壊活動を実行した。 〔前回指箇〕 …の指令に従って、それぞれの国の政府を転覆するなど、破壊活動を行いました。〔今回指箇〕	生徒が誤解するおそれのある表現である。（各国の共産党の一般的な活動）〔3・(3)〕	各国の共産党は、コミンテルンの支部と位置づけられ、モスクワの本部の指令に従って、それぞれの国内を混乱させる活動を行った。（227 頁）	〔反論せず〕		

No	欠陥番号	指摘事項（要修正）	指摘事由〔適用校定基準〕	現行教科書（修正後合格）	市販本・不合格教科書	自由社反論	調査官による反論認否
29	269・315	1928年、蒋介石は北京をおさえて新政府を樹立した。 (同ページ上右図「蒋介石(1887～1975)」中、「1927.9 国民政府も同様」(前回指摘) 〔① 北伐の経路図〕中、「1927.9 国民政府」〔今回指摘〕	生徒が理解するおそれのある表現である。(国民政府樹立の時期) (3・(3))	1928年、蒋介石は北京をおさえて統一を完了した。(228頁) 蒋介石(1887～1975)と北伐 1927.4 国民政府 (同頁上図) 【自主修正】	…1928年、北京をおさえて北伐を完了しました。(228頁) 北伐の経路図 1927.4 国民政府 (同頁上図)、し	(反論せず)	
30	282・323	「上海事変から始まった日中戦争」全体 (前回指摘) 「日中戦争の始まり」(全体) (今回指摘)	生徒が理解するおそれのある表現である。(第二次上海事変及び日中戦争の実態) (3・(3))	現地の日本軍にも中国軍にも戦闘拡大の意図はなく、4日後に現地停戦協定が結ばれた。しかし、その日、近衛首相は派兵を決定し、中国側は日本人への襲撃などの挑発をやめなかったこともあり、本格的な戦闘状態になっていった。 こうして日中間の緊張が高まるなか、8月には、外国の権益が集中し各国の租界がある上海で、2人の日本の軍人が惨殺される事件が起こった。8月13日、中国軍の大軍と、日本人居留区を守っていた日本軍との間で、戦闘が始まった(上海事変)。日本は陸軍の増援部隊を派遣したが、中国軍の精鋭部隊に苦戦を強いられ11月までに4万人の死傷者を出した。(233頁)	日本は国民党政権との和平を強く望んでいたので、8月5日、「龍津工作」とよばれる和平案を提案しました。しかし、その1回目の交渉が行われた8月9日、各国の租界がある上海で、2人の日本の海軍軍人が惨殺される事件が起こりました。これによって、龍津工作は立ち消えになりました。 8月13日、蒋介石率いる国民党軍の大軍が、日本人居留区を守っていた海軍陸戦隊を攻撃し、戦闘が始まりました(上海事変)。日本は陸軍の増援部隊を派遣しましたが、中国軍の精鋭部隊に苦戦を強いられ11月までに4万人の死傷者を出しました。(233頁)	記述の全体を否定するのは、調査官の歴史観の押しつけになることが危惧される。誤りがあるならば、その箇所を指摘していただきたい。	日中戦争の始まりと第二次上海事変との関係や実態について誤解するおそれがある。反論は認められない。

	欠番番号	指摘事項（要修正）	指摘事由（適用校定基準）	現行教科書（修正後合格）	市販本・不合格教科書	自由社反論	調査官による反論可否
31	295・340	「アジア諸国と日本」全体	生徒が誤解するおそれのある表現である。（日本とアジア各地との関係） 〔3・(3)、前回指摘〕 （日本の戦争目的及び占領の実態及び262ページ8～9行目との関係） 〔3・(3)、今回指摘〕	アジア諸国と日本 日本の南方進出は、戦争遂行に必要な資源を獲得し、各国の独立のもとに日本を盟主とした新しい経済圏を確立することが目的だった。日本は「アジアの解放」を名目にかかげたが、戦場となった、中国や東南アジア地域の人々には大きな損害を与えることになった。 日本は占領各地で軍政をしいた。小学校や技術訓練の学校を設立し、民衆をふるい立たせる教育も実施した。現地の独立運動の指導者たちは、欧米諸国からの独立のため、日本の軍政に協力した。 しかし、日本語教育や神社参拝を強いたことに対する反発もあり、連合国と結んだ抗日ゲリラ活動が起きた。日本軍はこれにきびしく対処したので、民間人もふくめ多数の犠牲者が出た。また、戦争末期になり、日本の戦局が不利になると、食料が欠乏したり、現地の人々を重労働に従事させたりすることがしばしばおきた。（240-241 頁）	アジア諸国と日本 日本の南方進出は、戦争遂行に必要な資源を獲得し、各国の独立のもとに日本を盟主とした新しい経済圏を確立することが目的だった。日本は「アジアの解放」をかかげましたが、戦場となった、中国や東南アジア地域の人々にも被害がありました。 日本は占領各地で軍政をしきました。小学校や技術訓練の学校を設立し、民衆をふるい立たせる教育も実施しました。現地の独立運動の指導者たちは、欧米諸国からの独立を達成するため、日本の軍政に協力しました。 しかし、日本語教育や神社参拝をとり入れたことに対する反発もあり、連合国と結んだ抗日ゲリラ活動もおきました。日本軍はこれにきびしく対処したので、民間人にも犠牲者が出ました。また、戦争末期になり、日本の戦局が不利になると、食料が欠乏することや現地の人びとを労働力として動員することがおきました。（240-241 頁）	私たちの見解であり、生徒が誤解する恐れはない。	日本の戦争目的及び占領の実態及び 262 ページ 8～9 行目との関係について誤解するおそれがある。反論は認められない。

No	欠陥番号	指摘事項（要修正）	指摘事由（適用校定基準）	現行教科書（修正後合格）	市販本・不合格教科書	自由社反論	調査官による反論認否
32	296・342	「大東亜会議の出席者たち」中、「 <u>南京に設立された日本に協力的な政府</u> 」〔前回指摘〕 「① 大東亜会議の出席者たち」キヤプション中、「 <u>中華民国南京政府（南京に設立された日本に協力的な政府）</u> 」〔今回指摘〕	生徒にとって理解し難い表現である。（重慶政府との関係）〔3・(3)〕	大東亜会議の出席者 中華民国南京政府（重慶の蒋介石政権に対抗し、日本の支援を受けて南京に立てられた政府）（240 頁上部写真キヤプション）	大東亜会議の出席者 中華民国南京政府（南京に設立された日本に協力的な政府）（240 頁上部写真キヤプション）	蒋介石の政権が重慶に遷都したことは 232, 233 頁にて記載している。それとは別に南京政府が設立されたという事実はこの記述で生徒には十分理解可能である。	中華民国南京政府が重慶政府とどのような関係に立っのかを理解し難い。反論は認められない。
33	297・343	日本は 1943 年、ビルマ、フィリピンを独立させ…1945 年には、ベトナム、カンボジア、ラオスの独立を実現させた。〔前回指摘〕 「① 大東亜会議の出席者たち」キヤプション中、「日本は 1943 年、ビルマ、フィリピンを独立させ…1945 年には、ベトナム、カンボジア、ラオスの独立を実現させました」〔第 5 章 2 つの世界大戦と日本・まとめ図〕中の「大東亜会議・アジアの独立」も同様）〔今回指摘〕	生徒にとって理解し難い表現である。（247 ページ上表「アジア諸国の独立」との関係）〔3・(3)〕	日本は 1943 年、ビルマ、フィリピンを独立させ…1945 年には、ベトナム、カンボジア、ラオスの独立させた。（240 頁脚注）	日本は 1943 年、ビルマ、フィリピンを独立させ…1945 年には、ベトナム、カンボジア、ラオスの独立を実現させました（240 頁写真キヤプション）	〔反論せず〕	
34	299・344	日本を解放軍としてむかえたインドネシアの人々（前回指摘） 「⑤日本を解放軍としてむかえたインドネシアの人々」（全体）〔今回指摘〕	生徒が誤解するおそれのある表現である。（インドネシア占領の実態）〔3・(3)〕	日本を解放軍としてむかえたインドネシアの人々（中略） 1942 年、日本軍がインドネシアに進駐すると、人々は道ばたに集まり、歓呼の声をあげて迎えた。日本はオランダを追放してくれた解放軍だった。実際、日本の 3 年半の占領期間に、PETA と称する軍組織	日本を解放軍としてむかえたインドネシアの人々（中略） 1942 年、日本軍がインドネシアに進駐すると、人々は道ばたに集まり、歓呼の声をあげて迎えました。日本はオランダを追放してくれた解放軍だったのです。実際、日本の 3 年半の占領期間に、郷土防衛義勇	〔反論せず〕	

35	302・346	「創氏改名とは何か」中、「 <u>同姓の人が多いため、朝鮮総督府は住民に「氏」を決めさせ、登録させた。</u> 」(前回指論) ③ <u>創氏改名とは何か</u> 」中、「 <u>当時の朝鮮の姓は約250(ほどで、同姓の人が多いため、朝鮮総督府は住民に「氏」を決めさせ、戸籍に登録させました。これが「創氏」です。</u> 」	不正確である。(創氏改名の理由) ③-(1)、前回指論 生徒が誤解するおそれのある表現である。(「創氏」が実行された理由) ③-(3)、今回指論	の訓練、中等学校の増設、共通語の普及など、 <u>のちの独立の基礎となる多くの改革がなされた。</u> しかし、 <u>戦争末期になると食料は不足し、過酷な労働に動員され、憲兵が横暴な振るまいにおよぶなどの状況も発生した。</u> (241 頁コラム)	軍(略称=PETA)と称する軍事組織の訓練、中等学校の増設、共通語の普及など、 <u>のちの独立の基礎となる多くの改革がなされた。</u> (241 頁コラム)		
36	312・354	「 <u>朝鮮国際法と戦争犯罪</u> 」全体(前回指論) 「 <u>日本軍の戦争犯罪</u> 」(全体)(今回指論)	生徒が誤解するおそれのある表現である。(日本の戦争犯罪)③-(3)、前回指論 生徒にとって理解し難い表現である。(日本軍の戦争犯罪の実態)③-(3)、今回指論	● <u>日本軍の戦争犯罪</u> 日本軍も戦争中に侵攻した地域で捕虜となった敵国の兵士や非武装の民間人に対し、 <u>不当な殺害や虐待を行なったこともあった。</u> 連合国軍は、 <u>日本軍のおかしな戦争犯罪を厳しく裁き、1000 人に近い人が処刑されました。</u> そのなかには無実でありながら、誤った判決で処刑された人もいます。(248 頁コラム)	● <u>日本軍の戦争犯罪</u> これら、戦争の勝者である連合国側の戦争犯罪は一切、裁かれることはありませんでした。 これに対し連合国側は、 <u>日本軍が侵攻した地域で、捕虜とした敵国の兵士や非武装の民間人を虐待し殺害したとして厳しく裁きました。</u> この結果 1068 人の日本人が処刑されました。そのなかには無実でありながら、誤った判決で処刑された人もいます。(247 頁コラム)	全体が否定されているが、現行版とほぼ同文であり、一度検定を通過した内容を元端とするのは、行政の継続性から見て理解できない。	指論箇所は、「 <u>同姓の人が多いために</u> 」という理由は創氏を行った主たる理由ではありませんが、「 <u>せん。</u> 」と読むことはできません。提出された資料からは、指論箇所のような記述は構成できない。反論は認められない。

No	欠陥番号	指摘事項（要修正）	指摘事由〔適用検定基準〕	現行教科書（修正後合格）	市販本・不合格教科書	自由社反論	調査官による反論可否
37	330・369	「冷戦の経過」中、「1949 中華人民共和国（ <u>共産党政権</u> ）成立」	生徒が理解するおそれのある表現である。（成立時の中華人民共和国の性格）〔3-（3）〕	<u>冷戦の経過（年表）</u> 1949 中華人民共和国成立 （259 頁年表「ソ連中心の共産主義陣営」の欄）	<u>冷戦の経過（年表）</u> 1949 中華人民共和国（ <u>共産党政権</u> ）成立（264 頁年表「ソ連中心の共産主義陣営」の欄）	1949…中華人民共和国（中国共産党政権）」という記述を、「及びその他の政党を含む連合政権」のようには書くことは、共産党一党支配を欄塗する些末な事実にとらわれて、この本質を見失うおそれがある。歴史の真実はまぎれもなく「中国共産党政権」であったことは誰も否定できないところである。	建国当初の中華人民共和国は、統一戦線的性格を持つものであり、申請図書の記述では共産党政権と誤解するおそれがある。反論は認められない。
38	340・378	「日本人のノーベル賞受賞者」中、「 <u>江崎玲於奈（えさき りょうな）</u> 」〔前回指摘〕 〔⑨日本人のノーベル賞受賞者（一覧表）中、「 <u>江崎玲於奈</u> 」のルビ「えさき りょうな」〕〔今回指摘〕	誤りである。（ルビ）〔3-（1）、前回指摘〕 不正確である。〔3-（1）、今回指摘〕	<u>日本人のノーベル賞受賞者</u> <u>江崎玲於奈</u> （269 頁一覧表）	<u>日本人のノーベル賞受賞者</u> <u>江崎玲於奈</u> （273 頁一覧表） 【自主修正】	〔反論せず〕	
39	346・385	「中国による民族弾圧と周辺地域との紛争」中、「 <u>中華人民共和国の塗色</u> 」〔前回指摘〕 ②中国による民族弾圧と周辺地域との紛争〔今回指摘〕	生徒が理解するおそれのある表現である。（中華人民共和国の領域）〔3-（3）、前回指摘〕 生徒が理解するおそれのある図である。（当該地域の現況）〔3-（3）、今回指摘〕	<u>中国による民族弾圧と周辺地域との紛争</u> （272 頁地図） 〔検定意見に従い、台湾を中華人民共和国と同色に塗色？〕	<u>中国による民族弾圧と周辺地域との紛争</u> （278 頁地図） 〔中華人民共和国は赤、台湾は白になっている〕	〔反論せず〕	

（本表は、「平成 26 年度 検定意見書」（2020 年 4 月）令和元年度 検定意見書」（共に文科省 HP）、自由社現行教科書、市販本・不合格教科書などから、筆者が作成したものである。）